

油流出事故にご注意ください！

灯油などの油類が漏れ出し河川に流れ出す事故を起こした場合、油の撤去には費用がかかります。オイルフェンスの設置など、油を回収した費用は事故を起こした原因者が負担することになります。給油中はホームタンクから離れない、ホームタンクや配管の定期点検は怠らないようにしましょう。油の取り扱いには十分に注意して下さい。

給油中やホームタンクからの
油流出事故防止の心がけ

- ① その場から離れない！
- ② 除雪作業時は細心の注意を！
- ③ 落雪に注意！
- ④ 定期点検を怠らない！

オイルフェンスとは・・・？

油類が事故等によって河川や海などの水面上に流出した際に、油がそれ以上広がらないように防止するものです。

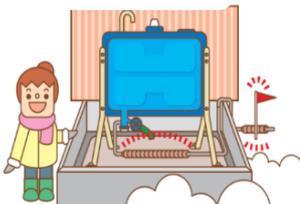


① その場を離れない



ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場をはなれないようにしましょう。

② 配管の場所には目印を



除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。一に備え防油堤を設置しておく安心です。

③ 落雪には注意して



屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。

④ 定期点検を怠らない



配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

▶ 油を流出させてしまった・油を発見した時は ◀

万が一、油の流出事故を起こしてしまった場合や発見した際は、すぐにお近くの消防署(119)・警察署(110)・各市町村役場・県の機関・国土交通省へご連絡下さい。流出した油を自分できれいに清掃したつもりでも雨と一緒に流れ出たり、地面に染み込んだ油が時間の経過とともに水路に流れ出てくる場合があります。また、流出した油を水で洗い流すことは被害拡大に繋がるので絶対にしないで下さい！

「川をきれいにする児童図画コンクール」の入選作品が決定しました！

「川をきれいにする児童図画」の募集は、川で遊ぶ機会の少なくなった児童の皆さんに「川をきれいにする」を心がけてもらうため、川を見てもらい・関心を持ってもらうことを目的として、(※)最上川水系水質汚濁対策連絡協議会が、平成4年から毎年実施しております。今年度は32回目を迎え、最上川水系に所在する市町村の小学校(30市町村、応募校117校)より、2,224点の応募があり、ポスター部門・川景部門の2部門合計127点の入選作品が発表されました！

※最上川水系水質汚濁対策連絡協議会とは、国土交通省東北地方整備局、経済産業省、山形県、山形県警察本部、最上川水系に所在する32市町村、東北電力(株)で構成され、最上川水系の河川について、河川水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的とし、昭和47年3月に設立されました。



令和5年度「ポスター部門」「川景部門」の入賞作品はここからご覧いただけます。



<https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/jidouzuga/>

ポスターの部 金賞
真室川町立真室川小学校 3年 高橋 彩花さん



TEC-FORCE

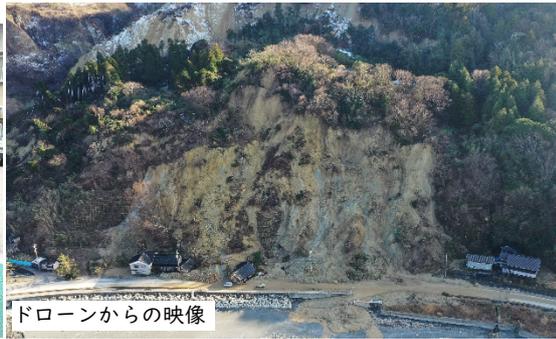
国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE(テックフォース)」

令和6年1月1日に発生した能登半島地震のため東北地方整備局からTEC-FORCEの派遣が行われました。新庄河川事務所からも職員が派遣され、石川県珠洲市において被災状況の調査を行いました。

TEC-FORCEとは、国土交通省の「緊急災害対策派遣隊」の通称名です。“自然災害などが発生した時に、被災自治体において技術的な支援を行う部隊”です。地震や台風などで被害が大規模になると、自治体職員だけで対応するのは困難な場合があります。このような時に、自治体からの要請によって派遣し、被災の場所や規模の調査、大雨で浸水したエリアの排水、通行止めとなった道路の応急復旧などを行います。隊員は各地方整備局の職員を中心に、地方運輸局、気象庁、研究機関、地方航空局、国土地理院など、国土交通省の様々な機関の職員で構成されていて、災害の規模に応じて全国から被災地に出動します。



出発式の様子



ドローンからの映像

※TEC-FORCE
の活動や対応状
況はこちらから
ご覧になれます。



<https://www.mlit.go.jp>

被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く普段通りの生活を送れる日が来るようお祈りいたします。



被災状況調査の様子



調査結果のとりまとめ作業の様子

今月の風景

～ 鮭川出張所管内をめぐる～

時代は大きく変化しても、止まることなく流れ続ける川。その川に沿って街をめぐり、その街の風景などを紹介していきたいと思います。第9回目は鮭川村の鮭の子館「^{よう}鮭の^{じんぎ}新切り」を紹介します。



鮭川村の鮭の子館の軒下には鮭がつるされています。これを「鮭の新切り」と言い、伝統的な保存食だそうです。作り方は地域によって違うのですが、サーモンロードの会では鮭の内臓やえらを取り除き1ヶ月ほど塩漬けし、流水で2日間塩を抜いたものを寒風にさらし熟成させるそうです。寒風にさらすことで鮭のうまみが凝縮するようです。鮭の新切りが軒下につるされる光景は鮭川村の冬の風物詩となっています。

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

お問い合わせ

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>

広報紙担当: 齋藤・小野

広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。